

ごあいさつ

当館では、年に一度以上の頻度で企画小展示会を開催することを活動目標に掲げていますが、今年度は『創基百五十一年 筑波大学五十年史』史料編上巻の編纂作業に追われて、年度最後のこの時期に開催することになってしまいました。

内容は、これまでの展示会を引き継ぐかたちで、「東京教育大学の創設—「小規模な総合大学」として—」といたしました。昭和24年（1949）、全国一斉に戦後新制大学が発足するなかで、筑波大学の直接の前身校にあたる東京教育大学は誕生しました。しかし、その経緯は、いま思う以上に複雑なもので、そこに後の筑波移転問題の起源を見ることができます。

こうして誕生した東京教育大学は、「タコ足大学」としての宿命を抱えながらも、教職員や学生らの努力もあってしだいに整備され、その運営も軌道に乗り、教育・研究の面で成果を挙げ始めました。今回の展示会では昭和40年頃までの資料を紹介することで、その足跡をたどることといたしました。

2025年3月24日

筑波大学アーカイブズ